

宇部市文化振興まちづくり審議会 会議概要

日 時：令和3年(2021年)3月25日(木) 10:00～11:45

場 所：原則としてオンライン

対面参加者は、市役所文化・スポーツ振興課

出席者：委員9人

事務局：森観光・CP部長、安光観光・CP部参事

酒井文化振興係長 中島主任

1 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長を福田委員、副会長を廣田委員とすることに決定した。

2 宇部市の「文化振興まちづくり」に関する審議会の役割について

宇部市文化の振興及び文化によるまちづくり条例の制定の経緯から、文化振興ビジョンの概要や趣旨等も踏まえて事務局より説明。

3 議事

(1) 文化振興ビジョンの「第3次版」への改訂の方向性について

令和3年度に改定作業を行う文化振興ビジョンの改訂の方向性について、事務局より説明。

(会長) 大まかな社会情勢の変化・流れと、現在の1次ビジョン・2次ビジョンの特徴を踏まえて改訂しようということと思う。

何かご意見はありますか？

(委員) 多文化共生や社会包摂など、時代の要請に基づいた提案と理解した。

目標指標の件では、やはり数値だけにとらわれてはならない部分もあると思うので、定性的な目標もあれば良いと思う。

(会長) 数値目標については、新型コロナウイルスの影響もあるので社会環境が変われば、目標のすべてに数値目標をつけなくても良いだろう。

文化事業の中止・延期や会館の利用制限など、物理的に文化事業にアクセスすることが困難な状況が続いて来たので、イベント等の数値目標が達成できないことは仕方ないといえる。

なお、目標指標は変えず、コロナで数値が下がったということ記録する歴史的な意味はあるかも知れない。

(委員) 文化振興ビジョンは、宇部市民向けのものなのか、それとも市外にPRするものなのか？

(事務局) 条例（宇部市文化の振興及び文化によるまちづくり条例）で、宇部市の「文化の振興及び文化によるまちづくりに関する施策の総合的に推進するための基本的な計画」とあり、基本的には宇部市民に向けたものである。

ただ、文化振興ビジョンの政策の柱の中の一つには「産業経済分野との連携と情報の発信」があり、この中には観光分野の施策も含まれているので、市外に宇部市の文化を発信したり、市外の方に宇部の文化に触れてもらうという観点もある。

(会長) このことについては、一次ビジョンを策定したとき、ずいぶん議論した。

市民が、文化をどのように享受し、文化を楽しみ、また外に発信もする。

文化が市内外に発信されて、いろいろな人と文化が交流し合うというような、大よそこのような考え方で良いのではないかと思う。

(委員) 本校の生徒がUBEビエンナーレに参加したり、子ども文化夢教室などの授業を受けているが、これらの授業などのベースが、この「文化振興ビジョン」ということを再認識した。

しかし、この基本となっている文化振興ビジョンが教育の現場

にあまり浸透していない。

教育現場でも周知が行き届いていないので、恐らく市民の間にも広まっていないと思える。

この計画をもっとPRしていき、市民や文化活動の関係者に知ってもらい、文化の活動を広げていくことが必要だろう。

私も、「うべの里アートフェスタ」に参加して、地元の歴史や文化を知り、楽しく勉強させてもらった。

子どもたちに、文化に触れてもらうために、市民（親）にもっとこの計画を知ってもらいたい。

（会長） 今日、改選後初めての会議なので、全員から文化についての意見や思いを話していただきたい。

（委員） 私は、ビエンナーレ世界一達成市民委員会や宇部市芸術祭などに関わっている。

これらの事業を活発に進めるため、皆さんから多くの知恵をお借りしたい。

文化振興ビジョンにも、宇部の文化がますます充実するような方向性を盛り込んでいきたい。

（委員） 私たちの団体では、事業を実施した後には事業の評価を行う。自主文化事業を例年多く行っているが、新型コロナウイルス感染防止の観点からアンケートは紙でなく、インターネットで行ってもらっているが、回収率が大変少ない。

市などで、文化事業のアンケートを行っていると思うが、どのように行っているか知りたい。

（事務局） 基本的に、会場では紙のアンケートを実施している。コロナ対策では、アンケート記載台に、手指消毒液を置いている。

また、文化全般に関するものでは、年に一度インターネット市民モニター制度を活用して「文化・芸術に触れる機会があった市民の割合」などを調査している。

(会長) 文化事業も色々な意見をフィードバックして考えなくてはならないので、反応を知る機会が必要でしょう。

率直な意見をうまく聴取する方法を探り実現していくのは大変重要ですが、地道な努力以外には実現しないでしょう。

(委員) いつも思うことだが、文化について取りとめもなく考えていると、文化の範囲はとても広い、何もかも文化のように思える。

思想、人の考え方など、どこでも文化の範囲が広がり、文化振興ビジョンを策定するとなると、ある程度審議する範囲を考える必要があると思う。

(会長) 思想、政治、宗教なども、一般的には文化の範疇に入ると思う。

ただし、文化振興ビジョンで取り上げるのは、狭い意味の文化・芸術というところで良いのではないか。

子どもたちやまちの未来を考える。社会包摂も必要となる。それを文化・芸術の力で何かできることがないかと考えていこう。

文化は、精神的なもので、最終的には、人類、個人が幸せになれるという観点から論じていくことが妥当だ。

一方、文明というものがある。

文明の進歩の過程で、いろいろなものが発明、発売される。

ゲーム機器が世にでて、楽しいと思う人が増えていくこともある。市役所に来れば、生け花があり、それを見て心が和んでいく。

わかりやすいのは、美術や音楽・ダンスなどあるが、個人または審議会委員という立場で、文化の輪郭について考えてみたい。

文化はジャンルも、手段もいろいろ、大きな広がりを持っている。伝統芸術も文化の歴史も、子どもたちの未来も色々考えなくてはならない

しかし、皆さんが持つ常識的な範囲で考えると、いい具合に落ち着いて来るだろう。

(委員) 新たな価値観が、今後もしろいろ増える状況にある。

文化の枠組みは、個人差はあり人それぞれ違う。

いい形で様々な人に響く文化のビジョンができればと思う。

- (委員) 個人的なことだが、宇部に来て 40 年になる。
最初は、地域とはあまり関わりなく生活して、やがて生活が落ち着くと、宇部のことを知る機会が増え、だんだん宇部が好きになってきた。
子どもたちが独立し、文化活動や宇部の歴史・文化を積極的に学んできて、自分のふるさととは宇部という意識がますます強まってきた。
宇部出身者もそうでない者も一緒になって、ふるさと宇部を盛り上げていきたいと強く感じている。
また、自分たちがこうしたい、ああしたいという気持ちがあれば、臆せずにチャレンジできる自由闊達な風土を醸成したい。
- (会長) 日本中どこでも地域の特色があるだけで、幸せになりたいと願う人の心の中はそんなに変わらないと思う。
ぜひ、そのような世の中になりたいものだ。
- (委員) 宇部文化連盟で活動し日々文化に関わっている。
私が、活動の目的としているのは、すべての古い日本の文化、また、新たな価値を子どもたちに繋いでいくことだ。
古くても新しくても、良き文化を、全部子どもたちの未来のために継承したい。
- (会長) 2 次ビジョンに「未来に向かうまち」というテーマがあるが、本当は、「未来に向かうまちと人」ということだろう。
将来、世界のどこかに住んでも「良かったなと思うまち」になれば良い。
もちろん、住んでいる人がそう思うのが大事、そして、外に出て行く人、よそから来る人、すべての人に良いまちをつくっていくのが、このビジョンの目的ではないか。
- (会長) 数年前、韓国に、調査に行ったとき、韓国の代表的な音楽は何かと尋ねたことがあった。
そうすると、ベルリンフィルハーモニーが韓国の音楽を演奏す

るなら、それは、韓国の伝統文化と思いますか？と逆に聞かれた。

とっさに思ったのが、韓国の人が、「素晴らしいな、懐かしいな」と思えば、伝統的なものだろうということだった。

誰が演じようと、良いものは良いのだ。伝統だ。

スウェーデン人が萩焼きをつくっても、皆が認める良いものであれば萩焼には違いない

日本は 250 年以上、鎖国をしてきて、国全体又は藩単位で純粋培養された特色ある文化がある。

今では県毎、地域毎にもあろうが、子孫に、その特色ある文化を託していくことが大事。

ただし、今の時代、その文化に携わるのは、閉鎖的な一部の人であってはならないだろう。

市民の誰もが文化に触れる、関わる機会を保障されるべきで、市外の住民やもっと広げていけば外国人だって地域文化の担い手になって良い。

(会長) それでは、予定時間になりました。

他になれば、事務局より何かありますか。

(事務局) 別紙の文化振興ビジョン（第3次）策定スケジュール案のとおり、次回開催は、6月上旬を予定しています。

令和3年度の第1回会議となる6月上旬の会議では、文化振興ビジョン（第3次版）への改訂について、篠崎市長から諮問をさせていただきます。

そして、6月から11月まで、計5回にわたりご審議をお願いする予定です。

次回会議から、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、対面での会議を復活できればと思いますのでよろしく申し上げます。